

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークに対するコイル塞栓術の検討

[研究責任者] 心臓血管外科 部長 小西康信

[研究の背景]

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークは大動脈瘤非縮小の危険因子で、術後 10%程度にみられるが、エンドリークの原因動脈に対するコイル塞栓術は有用性に乏しいとされている。当院ではこれまでに腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークの原因動脈に対するコイル塞栓術を積極的に行ってきており、その効果について検討した。

[研究の目的]

腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークに対するコイル塞栓術の有効性を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大動脈瘤の患者さんで、西暦 2014 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 12 月 31 日の間に血管内治療を受けた方

●研究期間：西暦 2020 年 12 月 1 日から西暦 2021 年 5 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、治療歴、身体所見、検査結果（画像検査（レントゲン、CT、血管造影等））。

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個

人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

心臓血管外科 小西 康信

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913